

公共図書館の公平性と可能性

～すべての取り組みは一人ひとりに向き合うこと～

図書館のコンセプト ^{くらし} 「生活とともにある図書館」
・あらゆる市民に利用してもらう ・利用者視点

図書館長
↓
図書館長

利用者 100人 (一日)
↓
増やす取組

- 1、 社会教育施設→社会共育施設 (公教育)
- 税金の還元 (いつでも・どこでも・だれでも)
- ・共に育つ施設 ・ルール・マナーを学ぶ場

図書館学の5法則 (ランガナタン インド学者)

- ① Books are for use.
図書は利用するためのものである。
- ② Books are for all.
いずれの読者にもすべて、その人の図書を。
(すべての人に本が提供されなくてはならない。)
- ③ Every books, its reader.
いずれの図書にもすべて、その読者を。
- ④ Save the time of reader.
図書館利用者の時間を節約せよ。
- ⑤ A library is a growing organization.
図書館は成長する有機体である。

・職員が市民とどう向き合うかが大切

・まず、図書館に来てもらう。

・館長の熱意、人柄
(公募で、10年間)

・館長がトップセールス

HP 「ブックスタート」

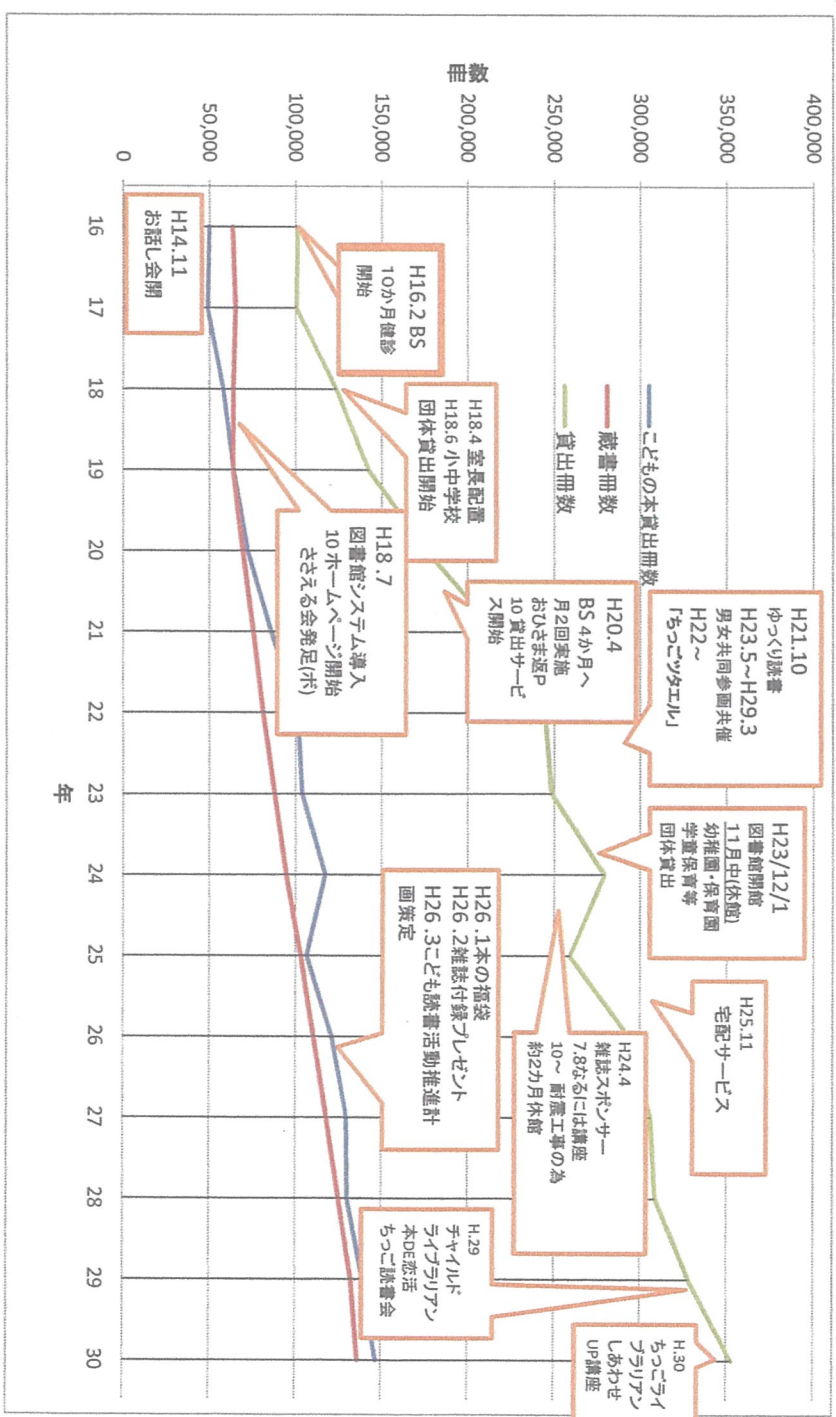
2、事業説明

3、質疑応答

筑後市立図書館蔵書冊数と貸出状況推移

図書館(館)利用統計

年度	こどもの本貸出冊数	蔵書冊数	貸出冊数
15	48,835	61,884	103,537
16	49,807	63,765	101,132
17	48,919	65,346	100,426
18	58,035	64,112	123,363
19	64,227	63,915	142,335
20	72,433	69,652	176,028
21	86,080	75,800	217,100
22	101,384	81,639	244,759
23	103,977	88,448	248,496
24	117,369	95,090	279,007
25	106,681	103,394	259,097
26	121,269	110,902	293,761
27	129,952	118,286	306,362
28	130,398	125,324	308,938
29	139,346	132,764	328,243
30	146,958	136,360	353,033



約10年間で貸出冊数が約3倍になった要因は
 ・公平なサービス実施・ボランティア養成・作家・絵本作家の記念講演会企画・日々のテーマ展示
 ・アウトリーチサービス(小中学校・学童保育所・幼稚園・保育所・子育て支援拠点施設など)
 ・ブックスタートでカード配付・ゆっくり読書タイム・絵本相談・宅配サービス・雑誌サービス・広報活動など
 ・司書のスキルアップ・貸出冊数の変更(18.6)(21.6)・図書館電算化(19.7システム導入)